

「DocuSign」とAPI連携の初期設定を行うサンプルシナリオ

「DocuSign」とAPI連携を行うために必要な初期設定を行い、認証情報を取得するサンプルシナリオになります。

DocuSignを利用されている環境で、DocuSignとWinActorを連携したい場合に利用します。

サンプルシナリオ概要

| 目次 |
|---|
| はじめに |
| 本サンプルシナリオの概要 <ul style="list-style-type: none">使用するWinActorモジュール本サンプルシナリオの想定レベル動作確認環境制約事項 |
| 本サンプルシナリオの使い方 <ul style="list-style-type: none">Step1.DocuSign事前設定Step2.WinActorで本サンプルシナリオを読み込みStep3.動作に必要な変数を設定Step4.WinActorで本サンプルシナリオを実行Step5.DocuSignへのログインを実行Step6.サンプルシナリオ実行終了後の確認 |
| トラブルシューティング |
| サンプルシナリオ解説 <ul style="list-style-type: none">認証後の画面から認証情報を取得する |
| 変更履歴 |

はじめに

「DocuSign」とAPI連携の初期設定を行うサンプルシナリオ(以降、本サンプルシナリオ)について説明します。

本サンプルシナリオの概要

本サンプルシナリオは、以下の処理を行います。

Chromeブラウザを起動し、DocuSignとAPI連携を行うための認証画面を表示します。

認証後、API連携に必要な情報をダウンロードします。

API連携に必要な情報をファイルに出力します。

使用するWinActorモジュール

本サンプルシナリオでは、以下のWinActorモジュールを使用します。

ノード/ユーザ/待機ボックス

ノード/アクション/クリップボード

02_エラー処理/エラー.ums6

04_自動記録アクション/エミュレーション.ums6

07_文字列操作/01_変形・整形/括弧書きの内側を取り出す.ums6

07_文字列操作/02_切り出し・分割/文字列を前後に分割.ums6

07_文字列操作/03_連結/文字列の連結(2つ).ums6

07_文字列操作/03_連結/文字列の連結(3つ).ums6

07_文字列操作/03_連結/文字列の連結(5つ).ums6

13_ファイル関連/01_テキストファイル操作/テキストファイル書込.ums6

13_ファイル関連/01_テキストファイル操作/テキストファイル読込.ums6

13_ファイル関連/02_ファイル操作/ファイル削除.ums6

13_ファイル関連/05_ファイル名/シナリオフォルダのファイルパス.ums6

23_ブラウザ関連/ブラウザ起動(プロキシ設定).ums6

23_ブラウザ関連/ページ表示.ums6

23_ブラウザ関連/ウィンドウハンドル取得.ums6

23_ブラウザ関連/任意のウィンドウへ移動.ums6

99_外部サービス連携/02_HTTP関連/HTTP.ums6

プチライブラリ/指定されたファイルをBase64でエンコードするライブラリ.ums6

(プチライブラリは[こちら](https://winactor.biz/library/) (<https://winactor.biz/library/>)からダウンロードできます。)

本サンプルシナリオの想定レベル

本ドキュメントは、以下の技術レベルのユーザを対象としています。

DocuSignの使い方について理解している。

動作確認環境

本サンプルシナリオは以下の環境で確認しています。

Windows 10、WinActor 6.3.0、GoogleChrome 88.0.4324.150

Windows 10、WinActor 7.2.0、GoogleChrome 88.0.4324.150

制約事項

本サンプルシナリオを実行するためには、DocuSignにアクセスするためのインターネット環境が必要です。

本サンプルシナリオおよびドキュメントは、DocuSignにログインできる状態を前提に記載されています。

本サンプルシナリオおよびドキュメントは、Google Chromeが使用できる状態を前提に記載されています。

本サンプルシナリオの使い方

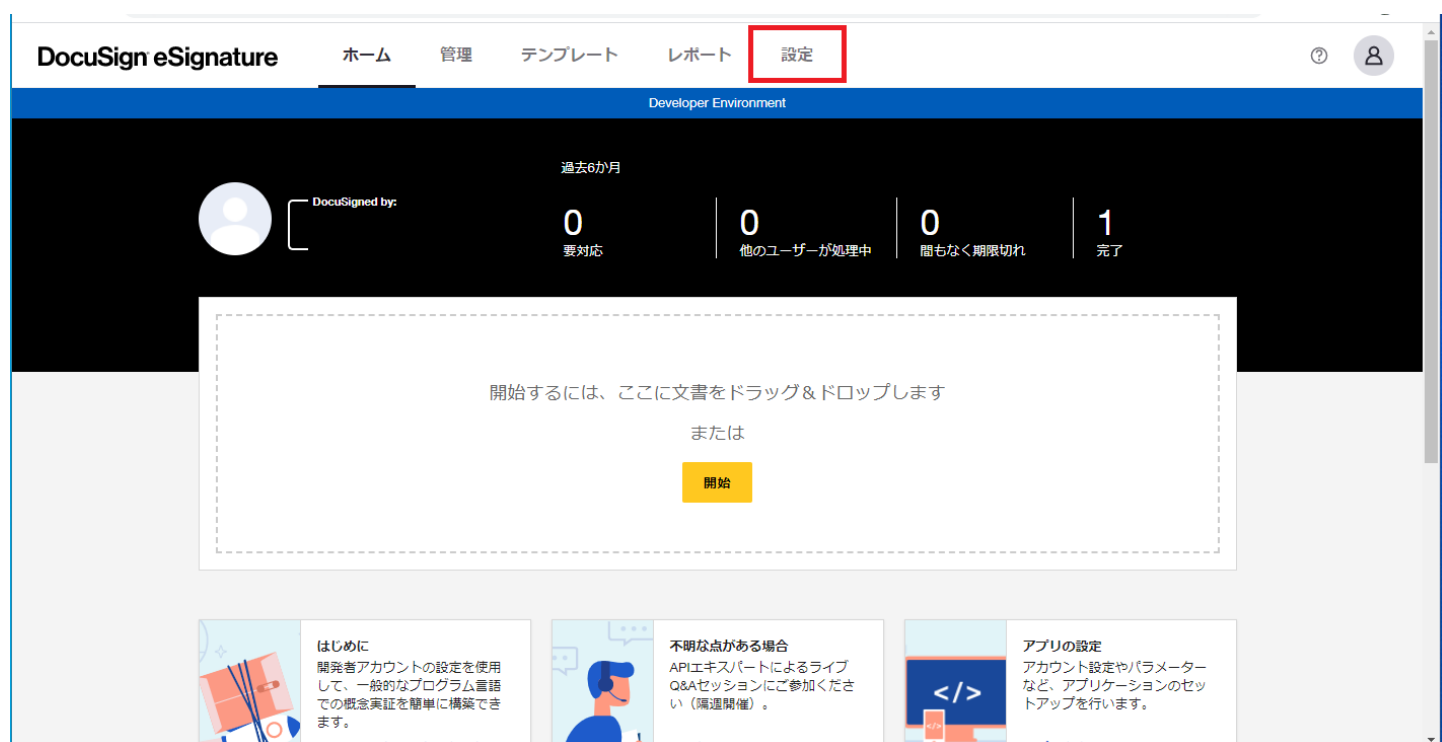
本サンプルシナリオの実施方法は以下の通りです。

Step 1 .DocuSign事前設定

本サンプルシナリオではシナリオ実行前の手順としてDocuSignを操作する必要があります。

DocuSignへのログイン、設定画面を表示

DocuSignを開いてログインを行ってください。ログイン後、上部メニューから「設定」をクリックしてください。



DocuSign ホーム画面

アプリケーションの登録

設定画面の左側メニューから「アプリとキー」をクリックします。

← → ↺ admindemo.docusign.com/admin-dashboard 🔍 ☆ 👤

DocuSign eSignature ホーム 管理 テンプレート レポート 設定 ⓘ 👤

アカウントID: [REDACTED]

概要

アカウント

プランと請求

アカウントプロフィール

セキュリティ設定

地域の設定

ブランド設定

印鑑

アップデート

価値計算ツール

ユーザーとグループ

ユーザー

権限プロフィール

グループ

署名グループ

署名と送信

署名設定

送信設定

メール設定

所有権の転送

文書の保持

法定開示

リマインダーと有効期限

文書カスタムフィールド

エンベロープカスタムフィールド

インテグレーション

DocuSign Connect

アプリとキー

支払い

ユーザーの検索

名前 ▼ 検索

設定の検索

🔍 検索

クイックリンク

- ブランド設定
- グループ
- 権限プロフィール
- プランと請求
- セキュリティ設定
- 署名設定
- ユーザー

通知 | 90日

DocuSign 設定画面

「アプリとキー」画面が表示されたら、「アプリとインテグレーションキーの追加」ボタンをクリックします。

セキュリティ設定

地域の設定

ブランド設定

印鑑

アップデート

価値計算ツール

ユーザーとグループ

ユーザー

権限プロファイル

グループ

署名グループ

署名と送信

署名設定

送信設定

メール設定

所有権の転送

文書の保持

法定開示

リマインダーと有効期限

文書カスタムフィールド

エンベロープカスタムフィールド

インテグレーション

DocuSign Connect

APIユーザー名

APIアカウントID

アカウントのベースURI

アプリとインテグレーションキー

| アプリ名 ^ | インテグレーションキー | ステータス |
|------------------|-------------|-------------------------|
| ATテスト | | ● デモ <div>アクション ▼</div> |
| Quickstart App-1 | | ● デモ <div>アクション ▼</div> |
| Quickstart App-1 | | ● デモ <div>アクション ▼</div> |

APIダッシュボード

表示

| | | | |
|----------|------|--------|--------|
| 3 | 257 | 246 | 11 |
| アプリケーション | 総要求数 | 成功した要求 | 失敗した要求 |

クイックスタート

DocuSign APIを初めて使用する場
合、使用するプログラミング言語
に応じてカスタムのプロジェクト
を自動的に作成することもできま
す。

アプリとインテグレーションキーの追加

アプリとインテグレーションキーの追加

「APIインテグレーションキーの追加」ダイアログが表示されるので、適当なアプリ名を入力して「追加」ボタンを押下します。

APIインテグレーションキーの追加

アプリ名 *

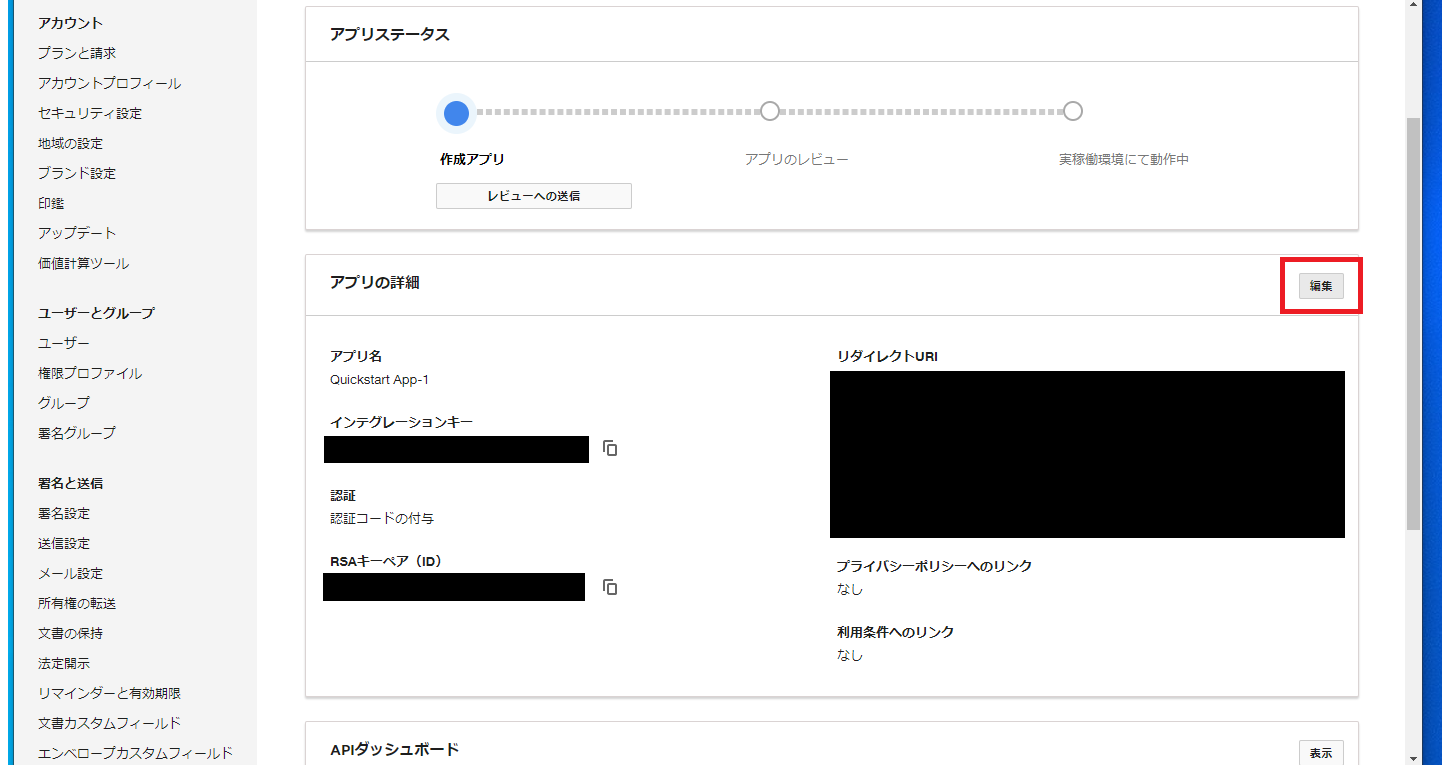
追加

キャンセル

インテグレーションキーの追加ダイアログ

アプリケーションの詳細画面を表示

追加したアプリケーション名をクリックし、アプリケーションの詳細画面を表示します。



アプリの編集

インテグレーションキーと秘密鍵の取得

アプリの詳細画面に遷移し、インテグレーションキーをコピーしてメモしてください。

また、「秘密鍵の追加」ボタンをクリックして秘密鍵を生成し、コピーしてメモしてください。



インテグレーションキーと秘密鍵の取得

リダイレクトURIの設定

同じくアプリの編集ページ下部にある「URIの追加」ボタンをクリックし、追加された入力欄に任意のlocalhostアドレス(例: http://localhost:8080/ds)を入力してください。

インテグレーション

DocuSign Connect

アプリとキー

支払い

契約アクション

ルール

接続

監査

監査ログ

一括アクション

その他の設定

リダイレクトURI

+ URIの追加

プライバシーポリシーへのリンク

http://www.example.com/privacy

リダイレクトURIの設定

Step 2 .WinActorで本サンプルシナリオを読み込み

任意のディレクトリに本サンプルシナリオのシナリオファイルを配置します。
配置した後、WinActorでシナリオファイルを読み込みます。

Step 3 .動作に必要な変数を設定

本サンプルシナリオを実行するために必要な値を、変数一覧で設定します。
本サンプルシナリオの実行にあたり、事前に設定が必要な変数は下記の通りです。

インテグレーションキー

Step1でメモしたインテグレーションキーを転記します。

秘密鍵

Step1でメモした秘密鍵を転記します。

リダイレクトURI

Step1で設定したリダイレクトURIを指定します。

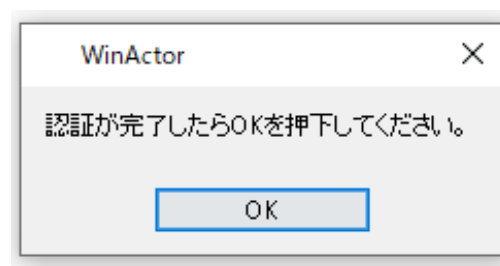
| 変数一覧 | | | | | | |
|------|------------|--------------------|-----|--------------------------|----------------------|-------------|
| | グループ名 | 変数名 | 現在値 | 初期化しない | 初期値 | コメント |
| - | OAuth関連 | | | | | |
| ⋮ | | インテグレーションキー | | <input type="checkbox"/> | | ※必須 |
| ⋮ | | 秘密鍵 | | <input type="checkbox"/> | | ※必須 |
| ⋮ | | リダイレクトURI | | <input type="checkbox"/> | | ※必須 |
| ⋮ | | Basic認証キー | | <input type="checkbox"/> | | |
| ⋮ | | アクセストークン書き込みファイル | | <input type="checkbox"/> | アクセストークン.txt | |
| ⋮ | | リフレッシュトークン書き込みファイル | | <input type="checkbox"/> | リフレッシュトークン.txt | |
| - | 共通 | | | | | |
| ⋮ | | ブラウザ名 | | <input type="checkbox"/> | Chrome | |
| ⋮ | | プロキシID | | <input type="checkbox"/> | | ※自動化する場合は必須 |
| ⋮ | | プロキシPW | | <input type="checkbox"/> | | ※自動化する場合は必須 |
| ⋮ | | ウインドウハンドル | | <input type="checkbox"/> | | |
| ⋮ | | URL前半部分 | | <input type="checkbox"/> | | |
| ⋮ | | インテグレーションキー/パラメータ | | <input type="checkbox"/> | &client_id= | |
| ⋮ | | リダイレクトURI/パラメータ | | <input type="checkbox"/> | &redirect_uri= | |
| ⋮ | | tmp_in | | <input type="checkbox"/> | tmp_input.txt | |
| ⋮ | | tmp_out | | <input type="checkbox"/> | Basic認証キー.txt | |
| - | API | | | | | |
| ⋮ | | 認可コード取得API | | <input type="checkbox"/> | https://account-d... | |
| ⋮ | | アクセストークン取得API | | <input type="checkbox"/> | https://account-d... | |
| - | アクセストークン取得 | | | | | |
| ⋮ | | 認可コード | | <input type="checkbox"/> | | |
| ⋮ | | Basic認証値 | | <input type="checkbox"/> | | |
| ⋮ | | リフレッシュトークン | | <input type="checkbox"/> | | |
| ⋮ | | アクセストークン | | <input type="checkbox"/> | | |
| - | グループなし | | | | | |

本サンプルシナリオ変数一覧の設定

Step 4 .WinActorで本サンプルシナリオを実行

本サンプルシナリオを実行します。

実行すると、シナリオの途中でダイアログが表示されます。



シナリオ実行後のダイアログ

Step 5 .DocuSignへのログインを実行

Step4のダイアログが表示された後、ChromeブラウザでDocuSignへのログインページが表示されます。

必要な情報を入力してログインを実行してください。

ログイン実行後、エラー画面が表示されます。この状態になったら、Step4で表示されたダイアログのOKボタンをクリックしてください。**この時、Chromeブラウザは閉じないでください。**



このサイトにアクセスできません

localhost で接続が拒否されました。

次をお試しください

- 接続を確認する
- [プロキシとファイアウォールを確認する](#)

ERR_CONNECTION_REFUSED

再読み込み

詳細

ログイン実行後に表示される画面

Step 6 .サンプルシナリオ実行終了後の確認

ダイアログのOKボタンをクリックすると、シナリオ処理が再開されます。

シナリオ実行終了後、シナリオファイルと同じフォルダに以下の3つのファイルが作成されていることを確認してください。

リフレッシュトークン.txt

Basic認証キー.txt

アクセストークン.txt

トラブルシューティング

認証後の処理ではウィンドウ識別情報を用いた処理を行っていますが、本サンプルシナリオで利用しているウィンドウ識別情報はURLにlocalhostを指定した場合を前提としています。

うまく動作しない場合は、「ウィンドウ識別ルール」からウィンドウ識別情報を新たに取得して更新していただくと動作する場合があります。



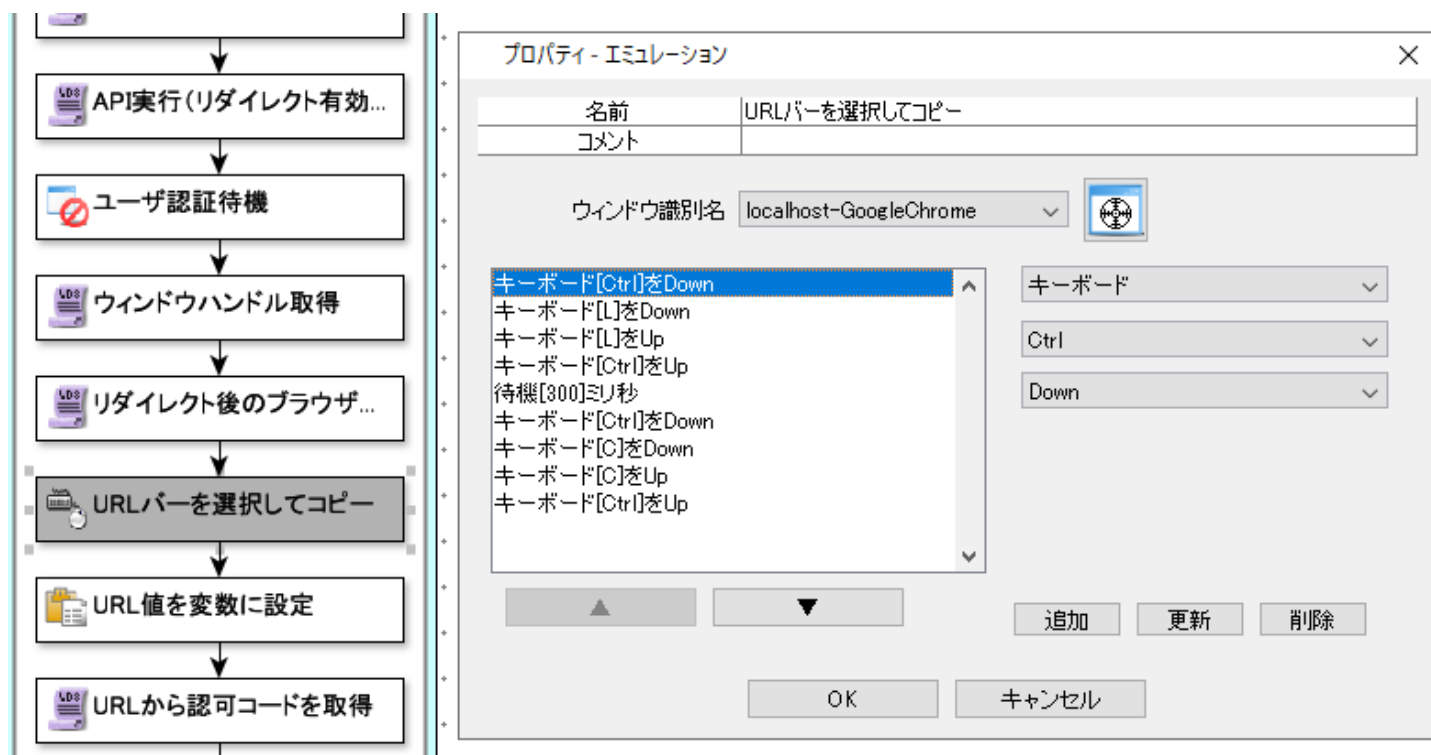
ウィンドウ識別ルールから新しくウィンドウ識別情報を取得する

サンプルシナリオ解説

本サンプルシナリオで使用している実装テクニックについて説明します。

認証後の画面から認証情報を取得する

本サンプルシナリオの使い方Step5で、ChromeブラウザのページからURLをコピーして解析する処理を行っています。URLのコピーにはキーエミュレーションを利用して「Ctrl+L」コマンドを実行するようにしています。多くのブラウザは、このコマンドでURL欄を選択することができます。



URL欄コピーのキーエミュレーション

変更履歴

| 版数 |
|----------|
| 1.0版 |
| 日付 |
| 2021/3/3 |
| 修正内容 |
| 初版 |

| 版数 |
|--|
| 1.1版 |
| 日付 |
| 2024/1/16 |
| 修正内容 |
| ・注意事項を削除 ・ファイル名を「SS2103_14471_DocuSign_GetAccessToken_1.0.1.zip」に変更 |